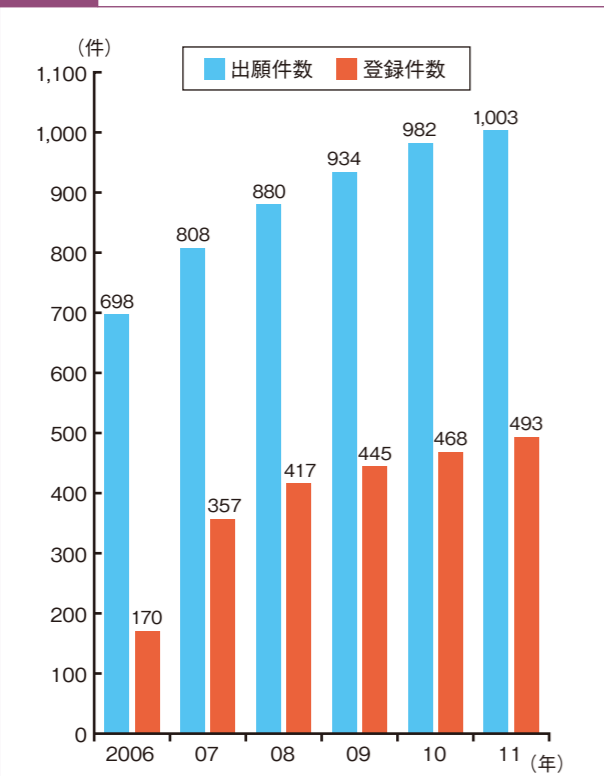
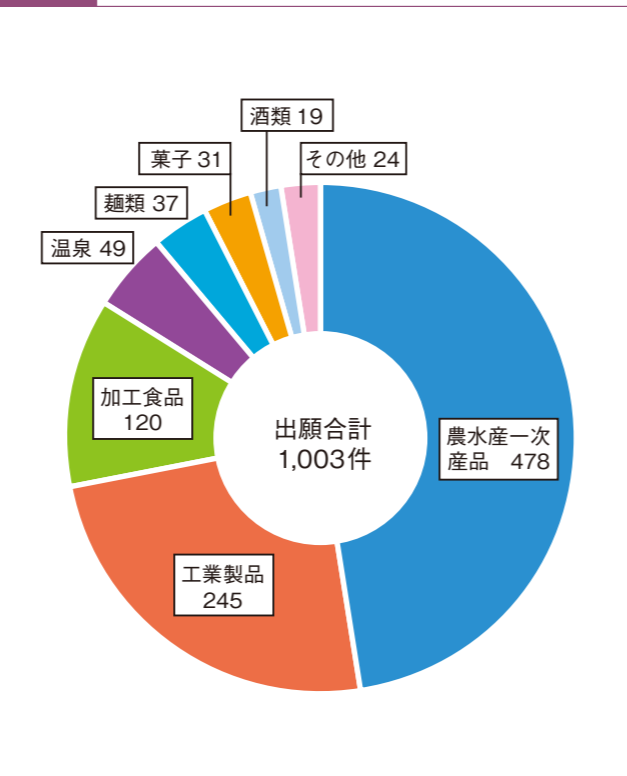


図表1 地域団体商標の出願登録件数推移(累計)



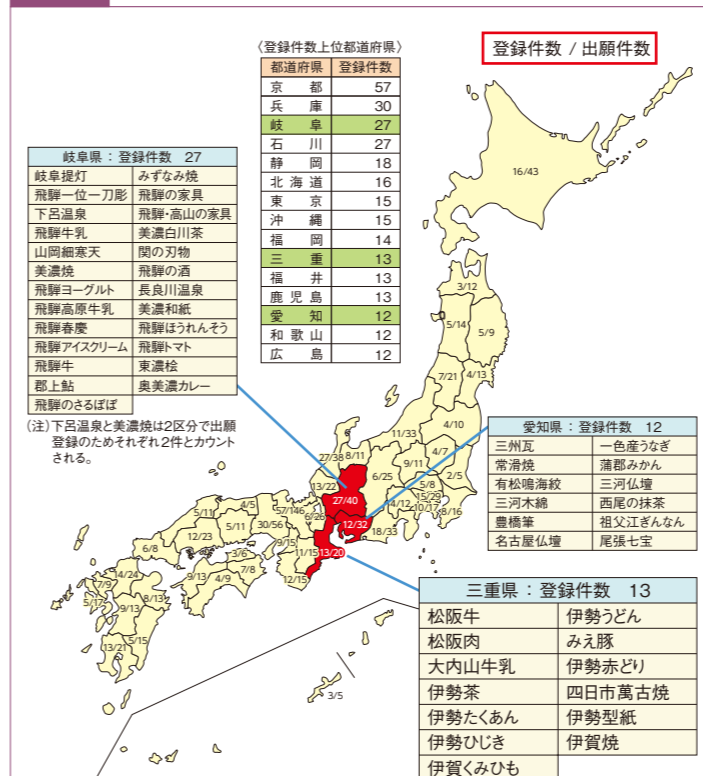
(資料) 特許庁「地域団体商標の出願状況について」「登録査定案件リスト」
(注) 2011年は出願件数が11月30日、登録件数が12月13日までの数値。

図表2 地域団体商標の出願内訳(累計)



(資料) 特許庁「地域団体商標の出願状況について」
(注) 2011年11月30日時点の数値。

図表3 地域団体商標の出願登録件数(都道府県別)・東海3県の状況



(資料) 特許庁「地域団体商標2011」等をもとに三重総研作成
(注) 出願件数は2011年11月30日現在、登録件数は2011年12月13日現在。

図表4 東海3県のJAPANブランド育成支援事業

都道府県	実施プロジェクト名
愛知県	三河・遠州地域の香港向け食農文化輸出戦略の策定
岐阜県	「美濃焼」の海外新販路開拓
三重県	日本のエコを世界へ!~未来の子どもたちのために、安全安心、環境、をデザインしたHECMEC(ヘックメック)ブランド事業
三重県	四日市から世界へ!IH技術海外市場開拓プロジェクト

都道府県	実施プロジェクト名
愛知県	JAPANセラミックタイル海外販売戦略事業
愛知県	アジア域の中核都市である「香港」及び「シンガポール」における、日本産花きのブランド確立の為の展示会「JapanBloomFair」と付帯するイベントプロモーションの実施
愛知県	きしめん・でら・バスタ計画
愛知県	クリエイティブ津島プロジェクト
愛知県	エコ屋根材・「三州瓦」の海外販路開拓事業
岐阜県	「飛騨の建具技術によるライフスタイル提案」ブランド育成事業
岐阜県	県域を越えた産・学・官との連携による「オリバスク」のジャパンブランド化による海外市場開拓事業

(資料) 中部経済産業局「平成23年度中小企業海外展開支援事業費補助金(JAPANブランド育成支援事業)の採択結果について」

1. 全国的に進む地域ブランド化推進の動き

- 地域の事業者が統一したブランドを用いて、地域と関連のある商品の生産やサービスの提供を行う取り組みが、地域ブランド化の動きとして全国で盛んになっています。こうした地域ブランドを商標権という明確な形にして保護・活用するための仕組みに地域団体商標制度があります。
- 具体的には、地域名と商品(サービス)名を組み合わせることで付けられた商標について、一定のエリア内で広く知られるようになった場合に事業協同組合などの団体に対して商標登録を認めるものです。従来、地域名を冠した商標登録は全国的に著名な商品(サービス)にしか認められていませんでしたが、商標法の改正(2006年)によって、その地域と隣接地域で認知されていれば足りるよう要件が緩和されました。こうした商標登録による効果としては、イメージ低下につながるような商品の排除など商品の品質やイメージを保護することなどがあります。
- 地域団体商標の出願件数は累計で1,003件(2011年11月30日現在)、登録件数は493件(2011年12月13日現在)となっています(図表1)。その内訳をみると、農水産一次産品が478件と全体の約半数を占め、次いで、工業製品245件、加工食品120件となっており、この3分類で全体の約8割にのぼります(図表2)。

2. 東海エリアの地域ブランド化の状況

- 地域ブランドを商標化する動きは東海エリアでも進んでいます。東海3県における地域団体商標の登録件数は岐阜県が27件、三重県が13件、愛知県が12件となっており、全国順位でも上位にあります(図表3)。出願件数も3県で92件と全国(1,003件)の1割程度を占めています。
- 各県の登録商標の内容をみると(図表3)、三重県では農水産一次産品や加工食品など食に関するものが全体の7割程度を占めているのに対し、愛知県では伝統工芸品などの工業製品が半分以上となっており、それぞれの地域の特性が出ています。
- こうした商標化の動きのほか、地域ブランドの事業振興の施策として中小企業庁が進める「JAPANブランド育成支援事業」があります。これは地域の産品や技術の魅力を高めて世界に通用するブランド確立を目指す団体を支援する取組で、2011年度は東海3県で11件(全国82件)が補助事業として採択されています(図表4)。
- 今後の地域ブランド化推進に関しては、商標登録後もブランド価値の維持・向上を図ることができる体制整備に加え、消費地に向けてアピールする販売面での戦略も必要とされており、地域関係者がブランドに対する意識を合わせて協力していくことが期待されます。

別府 孝文